

社会・労働関係文献月録

・分類表は1991年5月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等(葉書・FAX・e-mail可)で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引いたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町 4342 (〒194-0298) F. 042-783-2311

2002.9.1 ~ 2002.9.30 受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻・号)(月 号)
 *印単行書の場合 (発行所) (判・頁)(刊行年月)

理論・一般

0. 総記

特集 平等論の研究		カオスとロゴス	21	02.4
平等こそ社会主義正義論の核心(村岡 到)日本では平等思想がなぜ弱いのか(堀込純一)				
雇用の世代間格差と平等(基山 健)				
特集 新メガの研究		経済	81	02.6
マルクスの化学にたいする関心(渋谷一夫)				
初期マルクスの経済学研究と一八四四年一八四七年の手帳(一)(渋谷 正)他				
1848年2月の『共産党宣言』				
ヴォルフガング・マイザー 訳:橋本直樹	マルクス・エンゲルス・マルクス主義研究	37	02.2	
初版についての興味深い情報				
トーマス・クチンスキー 訳:橋本直樹	マルクス・エンゲルス・マルクス主義研究	37	02.2	
『宣言』はいかにして成立したか()				
マルティン・フント 訳:橋本直樹	マルクス・エンゲルス・マルクス主義研究	37	02.2	
*カール・マルクスと西欧政治思想の伝統	ハンナ・アーレント著 佐藤和夫編	大月書店	B6.361	02.7
*J Rは2020年に存在するか	角本良平	流通経済大学出版社	A5.158	01.6
*21世紀の労働と福祉	労働・福祉研究会編著	学文社	A5.208	02.3
*ゼミナール女性学+男性学	小森治夫	高菅出版	A5.163	02.4
*ザ・フェミニズム	上野千鶴子, 小倉千加子	筑摩書房	B6.250	02.6
*20世紀の夢と現実	加藤哲郎, 渡辺雅男編	彩流社	A5.294	02.5
*社会運動と文化	野宮大志郎編著	ミネルヴァ書房	A5.220	02.5
*職業の倫理学	田中朋弘	丸善	B6.182	02.6
*アメリカの福祉国家政策	新井光吉	九州大学出版社	A5.374	02.7
*公務員制度改革	西谷 敏, 晴山一穂編	大月書店	B6.253	02.7
*日本経済の変容と「構造改革」	大木一訓監修 労働運動総合研究所編	新日本出版社	B6.341	02.7
*女性白書 2002	日本婦人団体連合会編	ほるぷ出版	A5.302	02.8
*レジャー白書 2002		自由時間デザイン協会	A4.185	02.7
*労働経済白書 平成14年版	厚生労働省編	日本労働研究機構	A5.322	02.7
*厚生労働白書 平成14年版	厚生労働省監修	ぎょうせい	28cm.436	01.9
*労働運動白書 平成14年版				
厚生労働省労使関係担当参事官室監修	日本労働研究機構編	日本労働研究機構	A5.494	02.9
*海上労働科学研究所年報 No.31~34 平成10~13年度		海上労働科学研究所	A4.36	02.3
*世界人権問題研究センター年報 2001年度		世界人権問題研究センター	A4.126	02.6

*能力開発研究センター年報 平成13年度	職業訓練大学校職業訓練研修研究センター	A4.94	02.6
3. 労働経済論(含 賃金論)			
退職給付会計基準の適用における裁量行動の類型	岡部孝好	国民経済雑誌(神戸大)	185-4 02.4
ケインズの能率賃金論	田淵太一	山口経済学雑誌	50-1 02.1
5. 社会政策, 社会福祉, 社会保障論			
社会福祉施設に関する基礎的研究	渡邊洋一	淑徳大学社会学部研究紀要	36 02.3
福祉における負担者と雇用問題	川野辺裕幸, 秋元かおる, 中村秀一	改革者	501 02.4
社会保障と国民的合意(2)	吉澤昌恭	広島経済大学経済研究論集	24-4 02.3
福祉システムの変容と非営利組織	北島健一	松山大学論集	13-5 01.12
*新しいソーシャルワーク入門	河野貴代美, 杉本貴代栄編著	学陽書房	A5.230 02.3
*社会保障構造改革	相澤興一編	大月書店	B6.279 02.8
*福祉のための法学	野崎和義	ミネルヴァ書房	B5.413 02.8
8. 職業教育・訓練論			
外国人研究者による日本の職業教育・訓練の特質についての記述3			
	上林喜久子	自然・人間・社会(関東学院大)	32 02.1
社会的共通資本としてのエルゴナジー	村瀬 勉, 田中萬年	職業能力開発研究	20 02.3
職業能力開発大学校における応用課程の現状とその課題	山見 豊	職業能力開発研究	20 02.3
日本における技術者教育認定制度	平山正己	職業能力開発研究	20 02.3
労働者の教育・訓練観に関する日米比較研究	田中萬年	職業能力開発研究	20 02.3
「囲い込み型」から「インフラ型」への転換を	太田 肇	能力開発21	23-4 02.4
能力評価と処遇	笹島芳雄	能力開発21	23-5 02.5
公共職業訓練の役割と可能性	木村保茂	北海道大学大学院教育学研究科紀要	85 02.3
キャリア形成の現代的課題	安藤喜久雄	労務研究	646 02.4

労働問題

10. 総記			
*依願退職	高任和夫	講談社	A6.251 02.2
*リストラに絶対負けぬ170の処方箋	緒方邦彦	ぶんか社	B6.196 02.4
*大森界限職人往来	小関智弘	岩波書店	A6.315 02.8
11. 雇用・労働市場			
退職・再雇用に関わる諸課題について	宮川京子	あけぼの	19-7 02.5
日本の雇用システムの評価	吉田良生	朝日大学経営論集	16-2 02.2
中国の人事労務管理と労働市場	吉田良生	朝日大学産業情報研究所所報	10月別冊 02.2
北海道における最近の出稼ぎ労働	松田光一	開発論集(北海学園大)	69 02.3
五百三十万人雇用創出は夢ではない	島田晴雄	月刊自由民主	590 02.5
政労使合意の意義と課題	龍井葉二	月刊労働組合	439 02.5
ワークシェアリングへの能力開発担当者としての取り組み		逸見純昌 産業訓練	560 02.5
ワークシェアリングの効果と限界			
みずほフィナンシャルグループ・日本興業銀行調査部		旬刊労働実務	1362 02.4.21
ワークシェアリングをめぐる欧州先進国の動向と日本の課題		鈴木宏昌 世界の労働	52-4 02.4
野宿者に敷金支給・居宅保護の道開く	小久保哲郎	賃金と社会保障	1321 02.5.上旬
職安求職来訪者による「失業者」調査の方法と結果の概要	坂田幸繁, 小沢 薫	統計研究参考資料(法政大)	78 02.3
特集 論点 雇用問題		日本労働研究雑誌	501 02.4
名目賃金の下方硬直性(木村 武) 労働市場の流動化とは何か(太田聰一)			
日本のホワイトカラーの昇進は本当に「遅い」のか(八代充史)他			
募集・採用時における年齢制限緩和の努力義務	大原利夫	日本労働法学会誌	99 02.5
特集 リストラ・雇用危機の産別報告		ひろばユニオン	483 02.5
中小の疲弊と「モノづくり」の危機(小山正樹)「ユニクロ現象」下の合理化続出(逢見直人)			

企業と同化せず社会性ある闘いを(紙屋源太郎)構造改革・企業危機下の緊急避難(藤田幸三)他 失業問題・雇用政策とサードセクター	北島健一 松山大学論集	13-4	01.10
「緊急対応型」は本筋じゃないけど、雇用システムや働き方をトータルに見直すチャンス	水町勇一郎, 龍井葉二 連合	15-2	02.5
特集 雇用環境の変化を考える	労働の科学	57-6	02.6
デフレ不況の中で雇用問題を考える(成瀬健生)雇用危機と政労使「社会合意」(龍井葉二)			
アメリカにおける賃金格差と非正規雇用(高山与志子)日本経済の国際化と雇用環境の変化(鷲谷 徹)			
*究極の進路相談	中央大学政策科学研究室監修 アミューズブックス	B6.129	02.4
13. 賃金問題			
日本の賃金制度と労働市場	中村二郎, 大橋勇雄 経済研究(一橋大)	53-2	02.4
児童手当制度をめぐる諸問題	北 明美 人権教育研究(花園大)	8	00.3
戦前における中等教員社会の階層性	山田浩之 松山大学論集	13-5	01.12
*賃金決定指標 2002	総合労働研究所	B5.401	02.2
*公務員給与便覧 2002	大蔵財務協会	A5.725	02.3
*地方公務員給与の実態 平成13年	地方公務員給与制度研究会編 地方財務協会	A4.404	02.6
*地方公務員給与の実態(別冊) 平成13年	地方公務員給与制度研究会編 地方財務協会	A4.167	02.6
*新賃金傾向値表 2003年版	厚生労働省統計情報部監修 労務行政研究所	B5.306	02.9
14. 労働時間			
流通業における就業管理, 労働時間管理の問題点と課題	渥美俊一 ゼンセンコンパス	52-5	02.5
労働時間短縮政策の動向と問題点	藤原稔弘 労働法律旬報	1524	02.3.下旬
15. パート・派遣・家内労働			
パートタイマーの基幹労働力化と活用上の課題	佐藤博樹 Essor	90	01.12
自治体で働く臨時・非常勤(短時間)労働者の取り組み	川本富貴子 月刊いのちと健康	427	02.5
雇用創出は規制改革から(パネルディスカッション)			
(パネリスト:ジャンクロード・ダウスト リチャード・ウォルキスト 龍井葉二 茂木賢三郎 尾野 博 コーディネーター:小嶋典明)	月刊人材ビジネス	190	02.5
パートのハートを知りたい	連合	15-1	02.4
*明るい内職	内職ワーク研究会 N H K 出版	B40.211	02.7
16. 女性労働			
女性の能力活用(鼎談) (荒川 春 前田 薫 横溝正子)	Essor	91	02.2
労働におけるジェンダー考察	石原豊子 あごら	275	02.4
日本における女性雇用について	荒川恵美子 国学院商学	11	02.3
職場のジェンダーと能力・実績主義	熊沢 誠 全水道	67	01.5
*後発工業国における女性労働と社会政策	村上 薫編 アジア経済研究所	A5.217	02.3
*仕事を持つのは悪い母親? シルヴィアンヌ・ジャンピノ著 鳥取絹子訳 紀伊国屋書店		B6.214	02.7
*女性労働20世紀から21世紀へ 女性労働問題研究会編 青木書店		A5.461	02.7
*住宅建設業における女性技能者参入・活用の実態 平成4年度 住宅生産団体連合会		A4.151	93.3
*住宅建設業における女性技能者参入・活用の実態調査2 平成5年度 住宅生産団体連合会		A4.160	94.3
*住宅建設業における女性技能者参入・活用の実態調査3 平成6年度 住宅生産団体連合会		A4.21	95.3
17. 中高年労働			
働き方革命, 生活革命としてのワークシェアリング導入は, 変革期の今こそがチャンス	根本 孝 エルダー	24-5	02.5
募集・採用における年齢制限緩和と中高年齢者の再就職促進	山下 昇 労働法律旬報	1525	02.4.上旬
18. 障害者労働			
障害当事者運動とコンピュータ技術	旭洋一郎 長野大学紀要	23-4	02.3
19. 外国人労働			
*北陸における外国人研修生受入実態調査	北陸環日本海経済交流促進協議会	A4.86	01.3
20. 技術革新			
I T時代の読み・書き・そろばん	中尾和彦 連合総研レポートD I O	161	02.5

21. 労災, 職業病, 健康問題				
組織を活性化させるメンタルヘルス		かけはし	16-6	02.5
過労死労災認定基準の改定と今後の課題	佐久間大輔	季刊労働者の権利	244	02.Spring
今日の労働者の健康問題と産業保健	松田晋哉	月刊保団連	750	02.5
最新労災判例の詳解	山口浩一郎	月刊ろうさい	53-5	02.5
筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者に対する人工呼吸器に関わる情報提供のあり方	北村弥生	研究紀要 (国立身体障害者リハビリテーションセンター)	21	01.3
土石流等による労働災害の防止対策に関する総合的研究				
堀井宣幸, 豊澤康男, 玉手 聡, 橋爪秀夫, 濱島京子, 梅崎重夫	産業安全研究所特別研究報告	25	02.3	
特集 職場で取り組むメンタルヘルス		働く人の安全と健康	53-5	02.5
嘱託産業医と連携した取り組み (働く人の安全と健康編集部)				
事業場外資源を活かした中小企業のメンタルヘルスとは (大西 守) 他				
企業のメンタルヘルスの現状と実務的対策	荒井 稔	労政時報	3536	02.4.26
職場に潜在する災害要因を除去 予防管理のために不可欠な手法	増本 清	労働安全衛生広報	794	02.5.1
医療事故防止対策立案に向けたインシデント事例収集の課題	関由紀子, 前原直樹, 宮城恵理子, 清水準一, 石垣今日子, 鈴木民子	労働科学	78-1	02.1
22. 労働者意識				
* 組合員意識調査 2002年度		ゼンセン同盟	A4.117	02.7
23. 生活問題				
いい企業・仕事と家庭の両立支援	樋口恵子	Essor	89	01.10
「職業・生活」履歴分析の視点と課題	村上文司	社会科学研究(釧路公立大)	14	02.3
家族と労働世界	小林甲一	名古屋学院大学論集 社会科学篇	38-4	02.3

労働運動

30. 総 記				
* 労働相談実践マニュアル ver. 3		日本労働弁護団	B5.312	02.7
31. 労働組合・運動論				
『新世紀の労働運動』を監訳して	戸塚秀夫	季刊労働者の権利	244	02.Spring
十年後の対市優位を旨として	松沢悦子, 清野博司	月刊権利闘争	307	02.5
今こそ民主主義確立の地域共闘を	大野 久	月刊権利闘争	307	02.5
市町村合併と自治体労働組合の課題	勝島行正	月刊権利闘争	307	02.5
不況にあえぐ中小企業と労働運動の課題	相田利雄	月刊全労連	65	02.6
「グローバルマネー経済」時代と労働組合の課題	川副詔三	地域と労働運動	18	02.2/3
日本の労組は大転換を図れ	岩瀬 孝	連合総研レポートD I O	161	02.5
注目される中小・パート・臨時労働者の労働運動		労働経済旬報	1691	02.2.下旬
労働組合の今後の在り方とボランティア活動	高畑敬一	労働法学研究会報	2261	02.3.20
* 労働組合リーダー論	金錦 守著 中村 猛訳	明石書店	B6.196	02.5
34. 単産, 単組				
財務状況を好転させ労働条件の維持・改善を期す転換期の計画		石津博士 あげぼの	19-7	02.5
特集 JRの不当労働行為・合理化攻撃と闘う3		科学的社会主義	49	02.5
鉄建公団訴訟 新たな陣形で政府・JRの責任追及 (佐久間誠)				
メンテナンス合理化の攻防 抵抗なくして働けず (園内 勝) 他				
第一交通糾弾キャラバン行動のまとめ	久賀孝三	自交労働者月報	307	02.5
市町村合併への自治労の対応	自治労政策局	自治労通信	694	02.5/6
だれもが仕事とプライベートを両立できる社会をめざして		植本真砂子 自治労通信	694	02.5/6
公務員制度改革の動きに抗し, 闘う体制の強化を!	足立則安	全水道	65	00.5
「四党合意」葬り去ることが真の解決への道	杉山智子	都職労	18	01.11
都職労55年に寄せて	向谷正夫, 宮部民夫, 三栖義隆, 旭喜久男, 福田行夫	都職労	18	01.11
国鉄闘争に寄す	橘 幸英	都職労	17	01.8

交通事故根絶めざす交通労働運動	川村雅則	労働運動	454	02.6
*らくたのハンドブック 改訂9版	ユニオンらくだ(京都自治体関連労働者自立組合)		B5.84	02.7
*日本の教育 第51集	日本教職員組合編	一ツ橋書房	A5.491	02.8
35. 団体交渉, 労働協約				
裁判官協議会における協議内容の批判的検討	鎌田幸夫	労働法律旬報	1524	02.3.下旬
36. 賃金闘争(含・生活改善闘争)				
2002年の海員春闘と今後の課題	片岡和夫	海員	54-5	02.5
2002年春闘 今後の闘い方について	自交総連	自交労働者月報	307	02.5
春闘のなかですすむ労資関係の転換と労働運動の反撃	大木一訓	所報(愛知労働問題研究所)	99	02.5
2002年春闘大手交渉を振り返る	山路憲夫	労政時報	3537	02.5.3
賃金底上げを土台に最賃闘争をひらく	服部信一郎	労働運動	454	02.6
特集 春闘の“終わりの終わり”		労働情報	598	02.5.1
新しい賃金闘争の戦略を考える(対談)(木下武男 小野寺忠昭)				
「労働攻勢」から「経営攻勢」へ(山田行雄)				
ペアを取ったとはいえ、極めて重い宿題を背負った春闘であった(インタビュー)	高倉 明	インタビュー:薩川隆一	26-5	02.5
37. 労働時間闘争				
子ども看護をめぐる状況と連合の取り組み	吉宮聰悟	労働調査	397	02.4
38. 合理化・雇用対策				
*炭鉱労働者の閉山離職とキャリアの再形成 5	藤見純子他編	早稲田大学人間総合研究センター	A4.221	02.5
39. 権利闘争				
改正均等法施行以前の男女差別に対する司法救済を否定	今野久子	季刊労働者の権利	244	02.Spring
仮眠時間も労働時間と認定	鬼束忠則	季刊労働者の権利	244	02.Spring
新認定基準による過労死認定	今井博紀	季刊労働者の権利	244	02.Spring
「賃金の支払の確保等に関する法律」(賃金支払確保法)と「請負職人」へのその適用	海野和夫	季刊労働者の権利	244	02.Spring
労働協約による高齢労働者の基本給30%カットは無効	木山 潔	季刊労働者の権利	244	02.Spring
特集 愛媛正光会「準職員」解雇裁判闘争で完勝 原告全員職場に復帰!		月刊権利闘争	306	02.4
解説・更新予期される有期雇用者の「雇止め」は許されない(福田 徹)				
有期雇用者(準職員)の解雇撤回闘争の経過(下田 亨)				
分限免職撤回闘争, 一四年の総括と課題(下)	牟田 実	月刊権利闘争	306	02.4
市町村合併と自治体労働者	福田 徹	月刊権利闘争	307	02.5
4・28不当判決出る		伝送便	278	02.5
42. 労働者福祉運動				
全国縦断仕事おこしシンポジウム	(宮本憲一 村山 隆 畠中俊哉 原山政幸 村岡 裕 伊藤盛久 滝澤恵一 田中夏子 石坂 誠)	協同の発見	118	02.4
市民の手でつくる新しい地域福祉	今井みづえ	労働法律旬報	1524	02.3.下旬
*生協の経営入門	川田俊夫	コープ出版	A5.92	01.1
*生き残れるか生協	岩垂 弘編著	同時代社	B6.275	01.6
43. 労働組合と政治				
職場から有事法制反対	伊藤彰信, 三尾 勝, 村中哲也, 吉田利一, 田中千恵子, 大西 純, 津田公男	月刊労働組合	439	02.5
44. 労働組合と社会問題, 社会運動				

経営労務

51. 人事・労務管理

転職理由からみた中高年管理職の組織間キャリアの研究	山本 寛	青山経営論集	36-4	02. 3
「仕事の再設計トレーニング・プログラム」の概要	バク・ジョアン・スックチャ	企業と人材	792	02.5. 5
マネジメント教育としての評価者研修	金津健治	企業と人材	792	02.5. 5
賃金体系の切替え	田代 裕	月刊社会保険労務士	38-5	02. 5
採用内定の取消に関する問題点	岩本充史	月刊人事労務	159	02. 5
新聞記事にみる成果型処遇事例	月刊人事労務編集部	月刊人事労務	159	02. 5
特集 経営品質向上と人材育成		産業訓練	560	02. 5
中国地方における経営品質向上活動の取り組み(高原健一)				
価値観の共有でイキイキ働ける職場環境をつくる(小山 昇 清岡照比古 金子正裕)				
企業倫理を定着させてグローバルに通用する強い企業をめざす(インタビュー)				
	Scott T.Davis	賃金実務	903	02.5. 1
社内公募・社内FA制度	井田 修	賃金実務	904	02.5.15
戦後半世紀の激動の労務管理史を語る(インタビュー)	兵頭 傳	聞き手:岩瀬孝 労働レーダー	26-5	02. 5
社員の自己責任と企業の雇用責任(インタビュー)	原井新介	聞き手:柴田宏行 労務事情	1010	02.5.15
*キャリアカウンセリング	宮城まり子	駿河台出版社	B6.274	02. 4
*自分のためのキャリア・リセット				
実践キャリア・カウンセリング研究会編	人材開発協会監修	中央経済社	A5.220	02. 4
*成果主義は怖くない	高橋俊介	プレジデント社	B6.239	02. 6
*企業の余暇・レクリエーションのすすめ方		日本レクリエーション協会	A5.79	99. 9

52. 賃金管理

業績連動型賞与制度の動向と望ましい姿(1)	久保淳志	月刊人事労務	160	02. 6
*賃金体系をどう変えるか	これからの賃金制度のあり方に関する研究会編	雇用情報センター	B5.268	00. 7

54. 定年制,退職金,企業年金

外国の年金制度における女性の取り扱い	都村敦子	週刊社会保障	2182	02.4.22
新企業年金制度の概要と企業の対応課題(1)	和泉信俊	賃金事情	2410	02.5.20
確定拠出年金法と労働法上の問題点	山田 哲	日本労働法学会誌	99	02. 5
*これならわかる日本版401k	年金問題研究会編著	ソフトバンクパブリッシング	B6.211	02. 3
*定年制廃止計画	横溝雅夫,北浦正行	東洋経済新報社	B6.232	02. 3

56. 教育・訓練

キャリア形成促進助成金の概要と活用のポイント	古川憲一	企業と人材	793	02.5.20
特集 「場」が組織パワーを高める		人材教育	161	02. 5
「場」が生み出す,組織を超えたナレッジ・ダイナミクス(野村恭彦)				
不可逆的な変化のなかで育む創造的知力(清水 博)他				

労働政策

65. 社会保障,社会福祉

特集 福祉NPO マネジメントの視点から		月刊福祉	85-8	02. 6
福祉NPOの興隆と課題(渋川智明)NPOはいかに会計に取り組むべきか(岩永清滋)				
NPOが行う機関誌発行・出版事業のマネジメント(福田房枝)光り輝く個人が社会を変える(播磨磨夫)他				
「医療構造改革」と公的病院リストラ政策をめぐる諸問題				
21世紀初頭に望まれるヘルスケアの質について		西岡幸泰 医療労働	439	02. 3
高橋淑郎,西村周三,市野川容孝,伊藤公一,佐藤貴一郎,福岡靖介,桐山士朗				
		ウェルフェア	特別号	02. 5
特集 高齢社会にパワーを		介護保険情報	3-2	02. 5

通所ケアで積極的に実施 重度化予防に大きな効果（森本益雄）
 介護費用七四四万円の節減 予測される大きな効果（木村義徳）
 パワーを回復してパワフルな生活（竹内孝仁）

大阪府守口市における介護保険制度の現状と課題

寺西伸介, 常德 誓, 小野山攻, 生野弘道, 秋田光彦	厚生	の指標	49-4	02. 4
地域医療連携関係の加算取得状況調査	福田 敬, 田村 誠	社会保険旬報	2133	02.5. 1
人権の世紀と社会保障「裁判」	井上英夫	社会保障	382	02.初夏
公的年金の常識・非常識（十四）	中山秀豊	週刊社会保障	2181	02.4.15
制度体系と高齢者医療は一体的に検討（インタビュー）	中村秀一	週刊社会保障	2183	02.4.29/5.6
要介護者六百万人の時代	高橋紘一	週刊社会保障	2184	02.5.13
どう描く「21世紀社会保障ビジョン」		情報労連リポート	253	02. 5
小泉改革 医療制度改革		女性と労働21	39	02. 1
介護保険料の負担と被保険者の自由権の生存権	伊藤周平	賃金と社会保障	1320	02.4.下旬
実践的関心事からの論評	吉永 純	賃金と社会保障	1320	02.4.下旬
社会保障と家族とジェンダー	若尾典子	賃金と社会保障	1320	02.4.下旬
「リスク・マネジメント」か「生活リスクの共有」か	岸田孝史	賃金と社会保障	1321	02.5.上旬
介護保険に対する利用者の反応とその特徴	相川良彦, 堀田きみ, 山根律子	農林水産政策研究	1	01.12
「女性の年金検討会」報告書を読む視点	公文昭夫	労働運動	454	02. 6

66. 労働法

課長コサックと労働法・会社法	伊達隆英	沖縄大学法経学部紀要	2	02. 3
特集 第14回労働法講座		季刊労働者の権利	244	02.Spring
企業再編の諸問題と対抗策（徳住堅治）非正規雇用問題（黒岩容子）		労働時間（鴨田哲郎）		
特集 解雇法制の再検討（シンポジウム）		日本労働法学会誌	99	02. 5
解雇法制の論議について（玄田有史）解雇制限の規範的根拠（本久洋一）				
解雇法制と労働市場政策の今日的課題（浜村 彰）雇用終了における労働者保護の再検討（小宮文人）他				
個別労働関係紛争の解決の促進に関する法律	柳澤 武	日本労働法学会誌	99	02. 5
労働法	道幸哲也, 小宮文人, 本久洋一, 中川 純	法律時報	74-5	02. 4
* アクセス労働法実務事典 上巻		労務行政研究所	B5.1210	01.12
* アクセス労働法実務事典 下巻		労務行政研究所	B5.2224	01.12
* 職場の労働法 改訂第3版	高橋保他	法学書院	A5.367	02. 4
* 労働法解体新書	角田邦重, 山田省三編	法律文化社	A5.181	02. 4
* 新・雇用社会の法	菅野和夫	有斐閣	A5.426	02. 7
* 不当労働行為法理の基本構造	道幸哲也	北海道大学図書刊行会	A5.245	02. 7
* わからないときに読む労働法実務の教科書		労務行政研究所	B5.533	02. 7

67. 労働判例

最近の労働判例について（上）（講苑）	野田 進	中央労働時報	998	02. 5
退職年金受給者に対する支給打切り措置の違法性	河合 壘	労働法律旬報	1524	02.3.下旬
研修医の過労死に初の司法判断	岡崎守延	労働法律旬報	1526	02.4.下旬
営業譲渡型不採用と不当労働行為	小島周一	労働法律旬報	1525	02.4.上旬
就労直前における解雇と損害賠償	小俣勝治	労働法律旬報	1525	02.4.上旬
* 年間労働判例命令要旨集 平成14年版		労務行政研究所	B5.480	02. 8

68. 労働委員会

確立された判断構造をくつがえす異常な命令	松井繁明	労働法律旬報	1525	02.4.上旬
* 福島県地方労働委員会年報 第29巻（平成13年版）		福島県地方労働委員会	A4.106	02. 6
* 山口県地方労働委員会年報 平成13年版		山口県地方労働委員会事務局	A5.63	02. 6
* 石川県地方労働委員会年報 平成13年		石川県地方労働委員会事務局	A5.132	02. 7
* 茨城県地方労働委員会年報 平成13年版		茨城県地方労働委員会事務局	A5.159	02. 7
* 高知県地方労働委員会活動記録 平成13年		高知県地方労働委員会	A4.53	02. 8
* 栃木県地方労働委員会年報 平成13年度版		栃木県地方労働委員会事務局	A4.43	02. 9

世界労働

71. アジア				
闘う韓国労働運動の現状	北川広和	科学的社会主義	49	02.5
73. ヨーロッパ				
イタリアの解雇法制改革の現状	大内伸哉	世界の労働	52-4	02.4
イタリアで広がる解雇規制守れの大運動	島田峰隆	前衛	752	02.6
労働運動の未来かけ青年を組織化	宮前忠夫	労働運動	454	02.6
週35時間労働時間法と雇用連帯省報告	矢野昌浩	労働法律旬報	1524	02.3.下旬
75. 北アメリカ				
アメリカの求職, 求人のおしくみと雇用差別禁止法	玄幡真美	協同の発見	118	02.4
アメリカにおける生活賃金運動(中) ステファニー・ルース編: 荒谷幸江		労働法律旬報	1524	02.3.下旬
アメリカにおける生活賃金運動(下) ステファニー・ルース編: 荒谷幸江		労働法律旬報	1526	02.4.下旬
79. ILO, 国際機関				
ILO「職場における障害者のマネジメントに関する実践綱領」	松井亮輔	世界の労働	52-4	02.4
ILO「石油・ガス製造業, 石油精製業」三者構成会議の概要(報告)	富田 望	世界の労働	52-4	02.4
2002年6月 第90回ILO総会への課題	田中光雄	連合国際レポート	14	02.4
日本に男女平等を求めるILO条約・勧告適用専門家委員会報告	牛久保秀樹	労働法律旬報	1526	02.4.下旬

歴史

80. 総記				
*戦後改革期の政論新聞	吉田健二	文化書房博文社	A5.346	02.8
85. 労働運動史(日本)				
語りつがねばならぬこと(12)	塩沢美代子	安全センター情報	286	02.5
第一次大戦後における足尾銅山の労働社会と労働組合	土井徹平	エネルギー史研究(九州大)	17	02.3
救援運動の再建と政治犯の釈放(2)	梨木作次郎	聞き手: 吉田健二 大原社会問題研究所雑誌	522	02.5
労働運動に燃えた半生(16)	柴崎秀明	季刊ひとびと	17	02.春
*たたかひの軌跡と継承		自治労新潟県本部	B5.528	00.9
*回想・尼崎のレッド・パーヅ	尼崎レッド・パーヅ問題懇談会編	耕文社	A5.258	02.3
87. 社会主義運動史(日本)				
戦後社会運動史資料論 鈴木茂三郎(2)	鈴木徹三	大原社会問題研究所雑誌	522	02.5
階級政党と天皇の再利用	上野建一	科学的社会主義	49	02.5
山川均・向坂逸郎外伝	今村 稔, 石河康国	科学的社会主義	49	02.5
*無残な敗北	吉田隆喜	三章文庫	B6.342	01.10
*わが友中野重治	石堂清倫	平凡社	B6.313	02.4
88. 社会主義運動史(外国・国際)				
コミンフォルム史料の概要	岡本和彦	自然・人間・社会(関東学院大)	32	02.1
古典とわたし(6)	田井 肇	社会主義	473	02.5
*東欧激変と社会主義 新訂増補版	廣松 渉	実践社	B6.273	02.4
*レーニン 下	ロバート・サーヴィス著 河合秀和訳	岩波書店	B6.325	02.8
89. 諸社会運動史				
八重山自治会・「宮良支庁」・八重山人民党	黒柳保則	愛知大学国際問題研究所紀要	117	01.12
完全解放への展望(17)	部落解放同盟中央オグ学校	朝田善之助全記録	50	02.4
ロッチデール公正先駆者組合と生産協同組合	中川雄一郎	協同の発見	118	02.4
水平社創立80年と部落解放運動の教訓	石岡克美	人権21	157	02.4
日本の植民地支配と三・一独立運動(1)(シンポジウム)				
(内藤光博 古川 純 姜求哲 笹川紀勝 林 慶澤)		専修大学社会科学研究所月報	464	02.2
日本の植民地支配と三・一独立運動(2・完)(シンポジウム)				
(内藤光博 古川 純 姜求哲 笹川紀勝 林 慶澤)		専修大学社会科学研究所月報	465	02.3

堺利彦農民労働学校(一)	小正路淑泰	部落解放史ふくおか	105	02.3
* かながわ被爆者のあゆみ		神奈川県原爆被災者の会	A4.253	01.1
* 公害の原点を後世に	広瀬 武	随想舎	B6.206	01.12
* 台湾抗日運動史研究 増補版	若林正文	研文出版	A5.466	01.6
* 過激派事件簿40年史		立花書房	A5.182	01.8
* 抗日戦争と民衆運動	内田知行	創土社	A5.343	02.2
* 自由民権運動と地方政治	大町雅美	随想舎	A5.382	02.4
* ハンセン病問題これまでとこれから				
ハンセン病・国家賠償請求訴訟を支援する会編		日本評論社	B6.270	02.5
* 菅野須賀子の生涯	清水卯之助	和泉書院	B6.316	02.6
* キリスト教社会主義と協同組合	中川雄一郎	日本経済評論社	A5.336	02.6

藤田雄二著 ― A5判・五〇〇頁・七〇〇〇円
アジアにおける文明の対抗 ― 攘夷論と守旧論に関する
 圧倒的な「外庄」への近代東アジアの抵抗の論議とは何か 三國の事例分析
 小室正紀著 ― A5判・四一〇頁・七一〇〇円
草莽の経済思想 ― 江戸時代における市場・道・権利
 農村の名主・土層の経済思想を軸に民間経済主体の前期の形成を描く。
 白木沢旭児著 ― A5判・四〇〇頁・七三〇〇円
大恐慌期日本の通商問題
 一三〇年代前半の統制経済の推進要因を中小工業の輸出統制から論議。
 庄司俊作著 ― A5判・四三〇頁・六九〇〇円
日本農地改革史研究 ― その必然と方向
 農地改革が自作農創設方式をとった歴史的必然性を社会構造から解明。
 曾田三郎編著 ― A5判・三四八頁・六〇〇〇円
近代中国と日本 ― 提携と敵対の半世紀
 反日運動が展開される中で「提携」の可能性を模索した人々に目を向ける。
 後藤 晃著 ― 菊判・三五一頁・四〇〇〇円
中東の農業社会と国家 ― イラン近現代史の中の村
 農業技術・地主制・耕地割替制など西アジア農法の展開を村の歴史に遡る。
 中川雄一著 ― A5判・二六〇頁・六〇〇〇円
近代ロシア農業政策史研究
 国家が農業を自らの体制内に把握する政策論議とその歴史を解明する。
 加納 格著 ― A5判・二五四頁・七一〇〇円
ロシア帝国の民主化と国家統合 ― 二十世紀初頭の改革と革命
 少数民族・エスニシティを視野にロシア近代化が孕んだ問題点を迫る。
 オットー・パウアー／丸山・倉田・相田・上条・太田 訳 ― 九〇〇〇円
民族問題と社会民主主義
 オーストリア史の歴史的文脈の中でマルクス主義理論の可能性を展望。
 相田慎一著 ― 菊判・二四四頁・九五〇〇円
言語としての民族 ― カウツキーと民族問題
 カール・カウツキーの民族理論とユダヤ人問題の核心を把握する。
 田中ひかる著 ― 菊判・二八二頁・五二〇〇円
ドイツナチキズムの成立 ― 「フライハイム」派とその思想
 一九世紀ドイツ・アナキズム思想の形成過程を歴史的に再構成。

御茶の水書房 〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20 ▶価格は税別◀
 電話03(5684)0751 / http://homepage1.nifty.com/ochanomizu-shobo/